



二宮尊徳思想論叢III

報徳思想と經濟倫理

國際二宮尊徳思想學會第三回學術大會(大連)特集

主 編 劉 金才 草山 昭

副主編 海村 惟一 齋藤 清一郎

學苑出版社



報德思想與經濟倫理

國際二宮尊德思想學會第三回學術大會(大連)特集

ISBN 978-7-5077-3170-5

9 787507 731705 >

定价：100.00元

二宮尊徳思想論叢Ⅲ

報徳思想與經濟倫理

國際二宮尊徳思想學會第三屆學術大會(大連)特集

主編 劉金才 草山昭
副主編 海村惟一 齋藤清一郎



NLIC2970389600

學苑出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

报德思想与经济伦理：日、汉 / 刘金才，草山 昭主编。
—北京：学苑出版社，2008.10

ISBN 978-7-5077-3170-5

I. 报… II. ①刘… ②草… III. 经济学：伦理学—文集—日、汉
IV. B82-053

中国版本图书馆CIP数据核字 (2008) 第160884号

责任编辑： 韩继忠

封面设计： 艾博堂文化

出版发行： 学苑出版社

社址： 北京市丰台区南方庄2号院1号楼

邮政编码： 100079

网址： www.book001.com

电子信箱： xueyuan@public.bta.net.cn

销售电话： 010-67675512、67602949、67678944

经 销： 全国新华书店

印 刷 厂： 永清金鑫印刷有限公司

开本尺寸： 850 × 1168 1/32

印 张： 28.75

字 数： 700千字

版 次： 2008年10月第1版

印 次： 2008年10月第1次印刷

印 数： 0001—1100册

定 价： 100.00元

主 編 劉 金才 草山 昭

副主編 海村 惟一 齋藤 清一郎

編集委員(中国語の羅馬字で排列)

並松 信久 (日本)	草山 昭 (日本)
飯森 富夫 (日本)	郭 連友 (中国)
海村 惟一 (日本)	皇 紀夫 (日本)
金 勲 (中国)	劉 金才 (中国)
李 海珠 (韓国)	マリニー (カナダ)
ノリス (アメリカ)	前田 寿紀 (日本)
小笠 原清 (日本)	下荒地 勝治 (日本)
ウレーン (イギリス)	王 秀文 (中国)
齋藤 清一郎 (日本)	左 漢卿 (中国)
俞 慰剛 (中国)	

序 文

ご承知のように、第一回「二宮尊徳思想国際シンポジューム」が2002年6月に北京大学で成功裡に開催され、その研究発表成果を「報徳思想と中国文化」と題する『二宮尊徳思想論叢Ⅰ』(北京大会)に編纂し、翌2003年4月に刊行した。これを契機に、報徳関係者や学者の各位の熱意と努力により、同年4月15日に国際二宮尊徳思想学会(INSA)が小田原において設立された。そして、二宮尊徳思想学会第二回学術大会は、翌2004年7月19日から21日まで、東京日本青年館において「二宮尊徳研究の過去と未来」と題して盛大に開催され、その研究発表成果を「報徳思想研究の過去と未来」と題する『二宮尊徳思想論叢Ⅱ』に編纂し、2006年7月に刊行した。

さて、今回の「報徳思想と経済倫理」と題する『二宮尊徳思想論叢Ⅲ』は、ほかでもなく、国際二宮尊徳思想学会第三回学術大会(大連大会)の論文集である。

国際二宮尊徳思想学会第三回学術大会には、日本、中国、韓国・アメリカ・イギリス・カナダなどの国々から、有力な学者代表と報徳実践者が二百名近く出席され、64名の方が58編の論文発表・研究発表をされた。論文の内容は、危機観・公共哲学・格差・文明などの視点から見た報徳思想、二宮尊徳思想の内包と特質、報徳思想と経済倫理、報徳思想と企業経営、報徳仕法と社会貢献、報徳思想と農村改革などと幅広く、二宮尊徳思想

研究における先端的成果をよく反映しているのみならず、21世紀における報徳思想研究と報徳実践の未来性を、知的かつ積極的に展望しているものである。この成果をより多くの方々にご活用して頂くため、われわれINSAが『二宮尊徳思想論叢Ⅰ』『二宮尊徳思想論叢Ⅱ』に続き、今回も日中両国語で『二宮尊徳思想論叢Ⅲ』を編集した。

この『二宮尊徳思想論叢Ⅲ』には、大会に提出された論文45篇と、研究発表の概要としての13篇を収録させていただいた。このほか、皆様に、この第三回学術大会についての内容や情報をより多くお届けし、ご協賛の方々に感謝の意を表するため、開幕式と閉幕式における関係者の挨拶やお祝辞、出席者名簿、協賛者名簿なども収録させて頂いた。

最後に、この第三回学術大会の順調な開催および円満な成功のために、物心両面にわたって多大なご支援とご協力を賜った大連民族学院、(財)報徳福運社報徳博物館、大日本報徳社、北京大学日本文化研究所、中国社会科学院、中国東北二宮思想研究センター及びご協賛頂いた方々、会議に参加出席された皆様に衷心より感謝の意を表し、併せて本論文集の出版に助成金をご援助くださった(財)報徳福運社報徳博物館を中心とする関係の方々に、編纂・翻訳・校正・出版にご尽力下さった研究者、訳者、編集委員の皆様、並びに学苑出版社に、厚く御礼申し上げる。

本論文集は技術的、時間的な制限で、多々不備な点があると存じますが、諸賢のご批正を頂ければ、幸甚に存ずる次第である。

国際二宮尊徳思想学会 会長 劉 金才
国際二宮尊徳思想学会理事長 草山 昭

2008年8月吉日

総 目 錄

国際二宮尊徳思想学会第三回が学術大会論文集

日本語版

国際二宮尊徳思想学会第三回が学術大会論文集

中国語版

国際二宮尊徳思想学会第三回が学術大会論文集

英語目録

目 錄

序文	劉 金才・草山 昭(1)
開会式の祝辞・挨拶	
祝 辞	
元中国文化部副部長・中国对外文化交流協會常務副 会長	劉 德有(1)
開会の辞	
北京大学教授・國際二宮尊徳思想学会会長	劉 金才(3)
歓迎の辞	
大連民族学院副学長	劉 玉彬(6)
挨 捶	
中国社会科学院教授・中国日本史学会会長	湯 重南(9)
挨 捶	
大連市外事弁公室副主任	韓 強(12)
挨 捶	
日本国衆議院議員・報徳議員の会会长・國際二宮尊徳 思想学会顧問	福田 昭夫(15)
挨 捶	
在瀋陽日本總領事館大連事務所・大連出張駐在事務所 副所長	吉野 隆俟(17)
挨 捶	
日本貿易振興機構(JETRO)・大連事務所所長	三根 伸太郎(19)

大会へのメッセージ

- 日本国衆議院議員・衆議院外務委員長 原田 義昭(23)
 21世紀を生かす二宮金次郎の会代表 立花 直(24)

第一部 基調講演

危機における経済倫理

- 二宮尊徳の場合— 山折 哲雄(25)

二宮尊徳の公共性思想

- 公共哲学の視点を中心に— 卜 崇道(32)

- 格差(差別)に挑んだ二宮尊徳 榊村 純一(38)

物質文明と精神文明の乖離

- 経済倫理と儒教の再照明— 李 海珠(45)

第二部 二宮尊徳思想の内包と特質

二宮尊徳の修身の道及びその現実的意義につ

- いて 関 捷(50)

- 二宮尊徳の「報徳」思想の特徴について 劉 淑梅(65)

- 二宮尊徳思想と儒教文化 王 鐵橋・張 文静(76)

中国における二宮尊徳研究(その二)

- 『日本人二宮尊徳及其他』をめぐって— 郭 連友(85)

二宮尊徳研究と中国伝統文化の回帰につ

- いて 吳 麗華(91)

時代言説への挑戦

- 二宮尊徳と孔子の教育思想の比較から—

- 張 如意(99)

歴史から見られる二宮尊徳報徳思想への認識と

- 評価 秦 頤(110)

第三部 報徳思想と経済倫理

- 二宮尊徳の「分度」思想について 姚 奇志(120)
マイクロクレジットと報徳論の課題
—バングラデシュのグラミン銀行をめぐって—
..... 並松 信久(135)
二宮尊徳の道徳経済一元思想及びその教え 梁 晓菲(159)
尊徳の金銭観について 新井 恵美子(171)
倫理学上より見た二宮尊徳主義
—『德育と倫理』をめぐって— 王 琢(188)
報徳仕法における倫理思想の特徴 張 憲生(197)
戦時下の経済倫理と「報徳経済学研究会」 見城 悅治(205)
コア競争倫理と倫理発展観に関するアプローチ
—報徳思想と経済倫理発展における障害—
..... 石 若一・石 岩・张 晨曦(219)
二宮尊徳の経済思想と日本社会の経済の発展
について 邢 麗雅・于 寧寧(240)

第四部 報徳思想と企業経営

- 日本企業の再生と二宮尊徳思想 手島 茂樹(251)
豊田佐吉と報徳思想
—豊田佐吉の“労働・感謝・奉仕”— 左 漢卿(270)
尊徳思想とトヨタウェイ 下荒地 勝治(278)
二宮尊徳における「経営の原理」
—子供達に教えたいた道徳— 李 鋒伝(293)
日本の経営における報徳理念の体現
—企業経営を中心に— 趙 美玲(309)
企業倫理と報徳仕法の関係 堀内 永人(320)

二宮尊徳の経済思想

- 一分度と推讓を中心に一……………劉志栄(340)

第五部 報徳仕法と社会貢献

- 現代における報徳思想受容の一考察…………伊藤公博(357)

天保期における二宮尊徳の譲道と指導者

- 教育……………宇津木三郎(384)

戦中・戦後におけるアメリカ側の日本への報徳活用の働き

- かけに関する考察(II)……………前田寿紀(401)

二宮翁の道歌における報徳精神の文学表現

- について……………祝利(420)

第六部 報徳思想と農村改革

- 江戸時代における循環型社会と共生思想……田邊泰士(427)

貧困観からみる近代韓国の農村改革運動と尊徳

- 思想の類似……………申鎬(438)

二宮尊徳と体制側

- 一「国民の模範」に選ばれた社会的経済的原因

- について一……………胡連成(448)

- 農政学者としての二宮尊徳と柳田国男……………孫敏(466)

付録

「二宮翁夜話」第一話における「論語」学而の受容について

- 一「學而時習之、不亦説乎」から「不學而自知、不習而自覺」へ……………海村惟一(482)

- 報徳思想と「私性倫理」……………杜洋(488)

- 二宮尊徳とPM論……………本村慎一(492)

生産者像とその社会的責任

—循環社会の視点から尊徳思想の展開を中心に—

..... 龍 世祥(495)

「推譲」思想と商業貿易倫理(要旨) 尚 彬(497)

語彙における「分度」「推譲」を見る

—『訳注二宮先生語録(上、下)、報徳外記』をめぐって—

..... 張 如(499)

21世紀を生かす「二宮金次郎の会」紹介 諸岡 俊弘(500)

二宮尊徳の思想と調和社会の建設 喜 君(505)

Norman Bethune 医師と二宮尊徳——二人の偉人の相違点

と共に通点 ドミニック マリーニ(507)

二宮尊徳思想をめぐる雑感 張 曉剛(513)

報徳思想とアメリカ先住民思想 Robert W. Norris(516)

閉会式の挨拶

大会総括

大谷大学教授・国際二宮尊徳思想学会副会長

..... 皇 紀夫(519)

閉会の辞

元大連民族学院副院長 関 捷(527)

謝 辞

国際二宮尊徳思想学会顧問 二宮 精三(532)

総 会

国際二宮尊徳思想学会理事長 草山 昭(534)

編集後記 海村 惟一・齋藤 清一郎(535)

祝 辞

元 中 国 文 化 部 副 部 長 劉 德 有
中 国 対 外 文 化 交 流 協 会 常 務 副 会 長

本日、国際二宮尊徳思想学会第三回学術大会が、私の故郷——大連で開催される由承り、誠に喜ばしいことと存じております。私は用事があるので大会に参加できないことに深くお詫び申し上げます。ここに、この手紙によって、今大会が盛大に開かれる事を心からお祝い申し上げますとともに、大会が無事成功裏に開幕するようお祈りいたします。

国際二宮尊徳思想学会がすでに二回にも成功に開催され、二宮尊徳の思想があらゆる角度から深く研究されました。第三回学術大会が「報徳思想と経済倫理」と題しまして、この大会を通して、二宮尊徳思想研究は新しい成果が認められますことを信じております。

二宮尊徳は日本江戸末期の農政家、思想家で、彼は自分の経験を基にして、当時日本の農村社会に適した農法・農村改良策——報徳仕法を作り上げ、また身をもって著しい成果を取得しました。実践と神儒仏思想によって提出された「至誠、勤労、分度、推譲」、「積小為大」、「一円融合」の「報徳思想」が当時日本の農村社会の実情に応じるばかりでなく、勤労、節約に象徴される日本人の国民性にも合うし、従って大きな生命力を持っているわけであると思います。明治に入って、当時の実業家の代表者——渋沢栄一、安田善次郎、豊田佐君らが「報徳思想」に大きく

影響され、第二次世界大戦が終戦する前に、二宮尊徳が日本の支配者に利用されました。報徳思想が持っている東洋価値倫理の本質は消えたわけではありません。戦争が終わって、二宮尊徳が松下幸之助、土光敏夫らの有名な実業家に再評価され、彼らはまた「報徳思想」を経営理念に生かして、大きな成功を収めました。

「報徳思想と経済倫理」を研究することは、東洋文化に内包される価値が掘り起こされ、再認識されることになるばかりではなく、東洋倫理道徳が経済発展においての役割を再認識することにも現実な意味を持っていると信じております。

あらゆる時代にもその時代の倫理道徳の実践的標準があり、それは歴史伝統文化の延長線であるとともに、現代社会気風の表れでもあります。中国は開放改革以来、社会主义物質文明の建築と精神文明は巨大な発展を取得しました。この二つの文明は互いに助け合い、互いに補完すべきことは実践によってすでに証明されたが、わが国のいくつかの分野——経済分野も含まれて、人意に尽くさぬことはまだ残されるから、今こそ道徳倫理の構築に更なる力を挙げることではないでしょうか。この大会が中国の日本学研究の発展、そして中国の社会主义物質文明と精神文明の構築のために、大きく寄与できるものと確信しております。

大会参加者の皆様、特に日本からお見えになった方々が楽しく暮らせ、また万事は意のままになるよう心からお祈り申し上げます。

(杜 洋訳)

開会の辞

北京大學教授 劉金才
國際二宮尊德思想學會會長

「報徳思想と経済倫理」と題する国際二宮尊徳思想学会第三回学術大会が、関係各界の団体・学会同仁および日本報徳関係者の皆様の有力なご支援とご協力の下に、共催者である大連民族学院国際言語文化センターとの二年間にわたる共同準備を経て、本日よりここ大連民族学院賓館において正式に開催されることになりました。

代表の皆様、ご来賓の方々に、心より真摯な敬意を表し、厚く御礼申し上げます。大会の準備と会務に大変な骨折りをされた王秀文教授をはじめとする実行委員会と事務局の皆様に心から感謝いたします。

ご承知のとおり、このたびの国際二宮尊徳思想学会学術大会は、北京大学における国際シンポジューム(2002. 6)と、東京日本青年館(2004. 7)での学術大会に続いて催される第三回の学術大会であります。東京大会以来、私たちの学会は、関係各位の弛まない努力により、学術活動の展開から研究組織の建設まで、喜ばしい発展を求めることができました。

たとえば、掛川市で主催された中日韓二宮尊徳思想フォーラム、大連民族学院での中国東北二宮尊徳研究センター創立式及び「報徳理念と実践フォーラム」、福岡国際大学での二宮金次郎研究会創立式及びフォーラムなどが行われ、会誌『報徳学』第二

号と「二宮尊徳思想論叢Ⅱ」を出版し、ますます多くの学者のご参加をいただくことができました。今回の第三回学術大会は、ほかでもなく以上の基礎を踏まえて開催されたのであります。

先述のように、今回の学術大会のテーマは「報徳思想と経済倫理」であります。この主題は、経済グローバル化の勢いに応じて、如何に、東方思想文化のエキスを融合した報徳思想を掘り起こして、当面世界各国の経済発展に起こされている深刻な「道徳危機」の解決に生かすかを探究するために提出したものであります。関係学者や報徳実践者の皆様から大いに注目され、多大な支持を賜ることができ、日中韓など六カ国から正式代表 162 名、関係参加者 40 名近く、あわせて 200 名近くの方々をお迎えすることができました。このうち、中日韓など 39 の大学や研究機関からお越しになった 52 名の方が、大会で論文発表・研究発表を希望されています。

ご発表いただく方々には、世界レベルの著名な学者もいらっしゃれば、若い新鋭学者やたった今研究を始めた大学院生もおられます。大会において、「尊徳思想の内包と特質及びその意義」、「報徳思想と経済倫理」、「報徳思想と企業経営」、「報徳仕法と社会貢献」、「報徳思想と農村改革」などの問題について、各自の研究成果や示唆にとんだ見解をご発表なさることになります。

こういうような、報徳思想を現実の経済倫理の構築に生かすことを課題とする研究は、東方の文化伝統についての研究でもありますし、いかに世界の物質文明と精神文明の発展を推し進めるかについての創造的思考でもあると我々は認識しております。従って、この大会において、これらの論文発表や参会者皆様の使命感と学術的立場に基づいた活発な論議を通して、必ずより多くの叡智卓見があらわれ、二宮尊徳思想及びその実践に